

【調査結果の概要】

- 国語は、佐伯市と比べると、2~4ポイント下回った。
- 算数は、基礎・活用ともに、佐伯市及び全国を大きく下回った。

◆正答率の比較

		2年	本校	市	全国	
国語	教科全体		77.2	79.7	82	
	基礎		84.2	86	89.3	
	活用		65.4	69.3	69.9	
	領域	言葉の特徴		86.9	89	93.9
		情報の扱い方		62	69.3	70.5
		話す聞く		59	62.5	62.9
		書く		81.9	85.8	84.7
		読む		76.4	76.2	78.1

		2年	本校	市	全国	
算数	教科全体		55.7	64.9	70	
	基礎		64.3	72.2	76.8	
	活用		26.4	40.1	47.2	
	領域	数と計算		60.8	69.9	74.9
		図形		40.9	50.3	56.1

【国語】

- △片仮名や言葉を正しく捉えたり、使ったりできていない。
- △文章を読み問題を捉えたり、続き方を考えて話作りをしたりする問題の正答率が低かった。
- △「事柄の順序を考えて話す」「情報と情報との関係を理解する」設問については、誤答や無解答が多く、文章を正確に読み取って答えることができていない。

【算数】

- △基礎・活用ともに、目標値を大きく下回っており、特に、活用の力が十分ではない。
- △「時刻と時間」「長さ・かさ」の活用の問題で、場面や何を問われているのかを理解した上で、答えることができていない。
- △基本の問題において、正確に正答を導き出すことができていないため、得点が取れていない。

国語での「漢字」や「読む」については、日々の授業や宿題にしっかりと取り組んだ成果だと言えます。正答率の低かった問題については、基礎・活用的内容を取り上げ、反復練習に取り組んでいきたいと考えます。基礎的な内容をしっかり理解することで、活用にのぞむ意欲へつなげていきたいと思えます。そして、苦手としている学習にもきちんと向き合う指導を継続し、子どもたちの成長を応援します。